

ケイ・コーディネートスクール

知って得する！

1 C2次ワンポイントアドバイス



第1回 「色えんぴつ活用法」

・着彩だけに使うのはもったいない！？

▶「色えんぴつ活用法」

色鉛筆は着彩の時だけ使うものだと思いませんか？

そんな受験生のために色鉛筆を“フル”に使う「色えんぴつ活用法」をお伝えします。

まずは課題文を読むときに使ってみましょう。

使用する色は「青」と「黄色」の2色 ①大事なところを「青色」で囲んで中を薄く塗る。 ②矢印➡を使って関連する箇所を示す。

③特に大事な「家具寸法」や「室内の高さ寸法」は目立つ色「黄色」で塗る。

▶色えんぴつを使うメリット

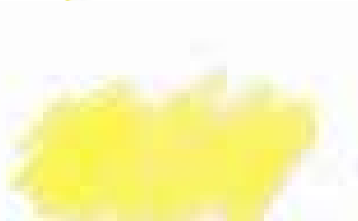
- 1、ポイントが一目でわかる
 - ・大事なところに色がついているので目立つ。見落としがなくなる。
 - ・色のついた矢印のほうに目が行くことで言葉と言葉の関連がつかめるようになる。
- 2、記入もれがなくなる
 - ・設問で記入指示がある「名称」「寸法」などの記入もれがなくなる
- 3、時間短縮
 - ・大事なところに注意を促す「色」がついていることで読み返す回数が減り、時間短縮になる。
- 4、「色」の心理効果
 - ・青：①集中力を高める ②気持ちを落ち着かせる ③時間経過が遅く感じる（例：30分しか経ってないのに1時間経ったと感じ、その結果、思ったより時間が経ってないことが分かり、見直す時間ができたりと精神的な余裕が生まれる）
 - ・黄色：①注意を促す ②記憶力を高める ③判断力がUP ④集中力を発揮させる

第36回 プレゼンテーション

使用する色鉛筆

青：名称・縁取り

黄色：数字



ポイント

- 室名・コーナー名、家具は青で縁取りする。
- 数字は青で囲んだ後、黄色を塗る。
- 関連のある者同士を矢印で結ぶ。

例：食器棚付カウンターテーブル→高さ700

[課題I プレゼンテーション]

[畳コーナーのある生活空間のインテリアコーディネート]

二人暮らしの共働きの夫婦から、購入予定の中古マンションのLDKのインテリアコーディネートを依頼された。図-1に示すLDKに、キッチンコーナー、リビングコーナー、多目的コーナー、畳コーナーを設け、友人を招いたり、夫婦共通の趣味を楽しめるようにしたい。

下記の条件により、依頼主に説明するためのプレゼンテーション資料を作成しなさい。

1. 空間の条件

- 建物はRCラーメン構造7階建ての3階部分である。
- 平面および開口部の形式・位置・寸法は、図-1に示すとおりである。
- 開口部の形式・位置・寸法は、変更できない。
- 内装制限は受けないものとする。
- 床は、既存のフローリング（オーク材、幅150mm、目地は南北方向）をそのまま使用する。

2. 依頼主の要求条件

(1) キッチンコーナーについて

- 既存のキッチンセットの位置や大きさは変更しない。
- 既存の食器棚付きカウンターテーブル（高さ700mm）に、軽食事に使用する椅子2脚を配置する。
- 冷蔵庫を置く。

(2) リビングコーナーについて

- 位置は図-1内の北東エリアとし、3人掛けソファ、ロースツール、センターテーブル各1を置く。
- 壁面にオープンな飾り棚兼書棚（幅2000×奥行400×高さ2000mm）を置く。書籍や工芸品を飾るために、固定棚板と仕切り板をグリッド状に組み、天井照明で演出する。

(3) 多目的コーナーについて

- 位置は図-1内の南東エリアとし、作業用テーブル（幅1600×奥行800mm）と椅子2脚を置き、普段はパソコン作業や読書などを行う。来客時にはキッチンコーナーの椅子を合わせて使い、食事などにも利用する。
- 壁面には天井までの造り付け収納（幅2500~2700×奥行600mm）を設け、作業に必要なものを置く。
- 収納の扉は折りたたみ式とし、内部には高さを調整できる棚板を設ける。